

1. 総会、講演会等

総会、講演会は、平成5年5月15日（土）午後2時から一般教育2号館102室で開催された。出席者は48名であった。

総会では、はじめに平成4年度4月9日現在の会員状況及び新入会員の紹介が行なわれた。次いで平成4年度事業報告、同会計報告、平成5年度事業計画案、同予算案が報告され、承認された。

続く講演会では、鈴木純子氏（9回生、国立国会図書館）の「地図史料学をめぐって－あわせて地図図書館の概況など」、及び熊谷圭知氏（本学助教授）の「パプアニューギニアから見た日本」と題する講演が行なわれた。

懇親会は、同日午後5時から「レストラン ダ」で開催された。

2. 談話会

平成5年度の談話会は、平成5年11月20日（土）午後3時から、美登志洋子氏（16回生、茗溪学園）を講演者にお迎えして開催された。テーマは、「地理教育における野外学習の意義－地理的意識育成の観点から－」、出席者は22名であった。

3. 見学会

見学会は、平成5年3月26日（金）、「東京の水問題」をテーマとして、金町浄水場を見学した。また午後からは柴又の門前町を散策した。案内者は、栗原尚子氏（16回生、本学助教授）、東千恵子氏（27回生）、参加者は、16名であった。

4. ニュースレターの発行

No.23 1993年7月25日発行（6ページ）

No.24 1994年5月25日発行（3ページ）

5. その他

(1) 平成6年度総会・講演会は、平成6年6月25日（土）午後2時から開催の予定である。

(2) 役員（平成4～5年度）

総務 内藤 博夫

企画 栗原 尚子、杉谷 隆、瀬戸 玲子、東山セツ子、鈴木 陽子、村松 晶子、中島 直子、渡辺真紀子、菊池美千世、時村 童子、杉山 圭子、木村真理子、田鍋 由紀、天野亜紀子、高山 直子、森 映子、栗原武美子

編集 田宮 兵衛、熊谷 圭知、木曾 久子、向後紀代美、二瓶 直子、竹内眞知子、中俣 厚子、新井 桂子、小笠原洋子、石川 敦子、桜井 恭子

会計 千歳 壽一、葉 倩瑋、小野美代子、太田 晴子、宇佐美彰子、生井澤幸子、新井 桂子、末吉由佳理

庶務 内藤 博夫、葉 倩瑋、阪口 陽子、阪尾ユミ子、鈴木 純子、滝沢由美子、今西 郁子、大森 正子、岡崎 直子、村山 朝子（敬称略）

(3) 会員数（平成5年4月9日現在）

総会員数 622名

学部卒業生会員 479名（卒業生637名）

大学院・専攻科修了会員 13名（修了者25名）

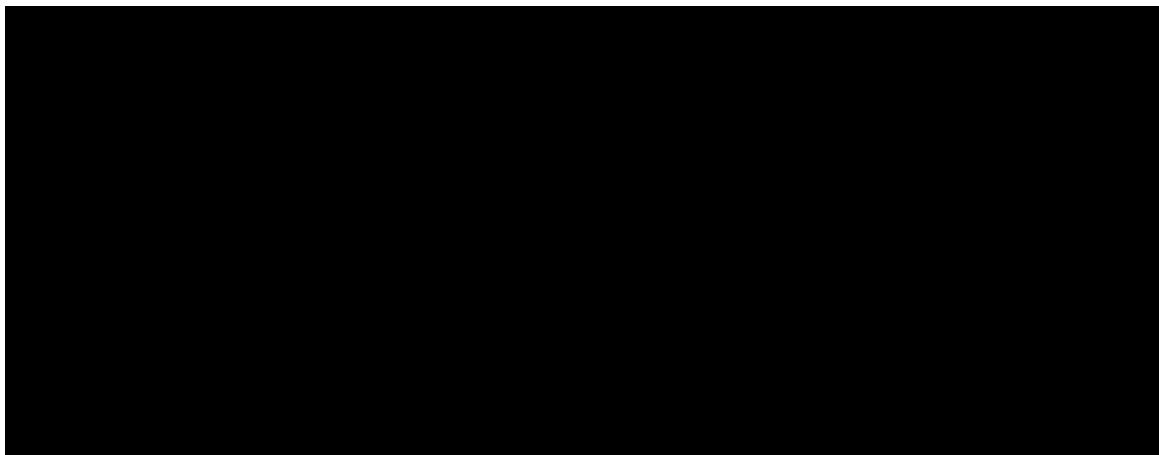
学生会員 99名

大学院生会員 3名

教官会員 6名（卒業生を除く）

特別会員 22名（会費免除会員7名を含む）

会員消息



地理学教室動向

カナダ・アルバータ州のレスブリッジ大学教授 島崎博文先生はお茶大の客員研究員として来日，平成5年5月20日から6月21日まで地理学教室に滞在された。研究テーマは「日本におけるカナダに関する文化史的地域研究」で，共同研究者は栗原尚子助教授。6月16日には島崎先生の公開講演会が711室で開かれ，学外の方を含めて25名が聴講した。講演会終了後，島崎先生を囲む懇談会が催された。

熊谷圭知助教授は平成5年9月4日から平成6年7月15日まで，北京日本学研究中心における日本語教育・日本研究に関する研究及び指導を行うため，中国に出張した。

文教育学部とそれを構成する各学科の姿を正し

く知ってもらうための学部案内（この種の出版物は文教育学部では初めて）が，10月1日付けで発行された。これには各学科の特徴がイラストや写真入りで紹介されているだけでなく，教官のプロフィールも掲載されている。地理学教室の杉谷隆助教授は編集委員（学部長，学部事務長を含む4名）としてこれの作成に参加した。

地理学科の卒業論文の提出期限は，長らく1月17日とされてきたが，平成5年度より他学科と歩調を合わせて12月25日に変更された。

平成5年度の在学生セミナーは昨年度と同様，3年生に対する卒業論文のガイダンスを主な内容として，KKR逗子宿舎・松汀園で開催された。